

長野県

地域医療支援センター情報交換会（5月11日開催）用アンケート

【設問1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

課題：医師の絶対数の不足、地域・診療科における医師の偏在、病院の診療科の休廃止

長野県の取組み：別添「平成24年度 医師確保総合対策事業」のとおり

【設問2】

設問1で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※24年度から実施の5県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

- ① ドクターバンク事業による医師の無料職業紹介
- ② 専任医師及び担当職員による長野県医学生修学資金貸与者との面談や相談
- ③ 研修会・講演会の開催やメルマガによる情報発信
- ④ 高校生医療現場体験セミナー等の開催

【設問3】

設問2で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。（あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など）

- ① ドクターバンク事業（23年度：成約者 13名、新規登録者 25名）
- ② 修学資金貸与者との面談：延べ76回
- ③ 研修会の開催（7月）、地域医療講演会の開催（3月）、メルマガの発行（9号）
- ④ 高校生医療現場体験セミナー（延べ8病院 207名参加）

【設問4】

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点（課題）があれば、ご記載ください。

- ① 事業費の県負担分について、地域医療再生基金終了後の財源確保が困難。
- ② 専任医師の確保。
- ③ 大学地域枠入学者全員が修学資金貸与者ではないことから、大学側の関り方が課題。

【設問5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

- | | | |
|---|-----------------------------------|---|
| ① | ドクターバンク事業による医師の無料職業紹介 | |
| ② | 専任医師及び担当職員による長野県医学生修学資金貸与者との面談や相談 | |
| ③ | 修学資金貸与者の配置に向けた貸与者及び関係医療機関等との調整 | |
| ④ | 総合医を養成するための研修プログラムの作成 | |
| ⑤ | 研修会・講演会の開催やメルマガによる情報発信 | |
| ⑥ | 高校生医療現場体験セミナー等の開催 | 等 |

～以上～

平成24年度 医師確保等総合対策事業

医療推進課医師確保対策室

24年度予算額	546,169千円	国庫補助 : 145,072千円 基金繰入金 : 168,320千円 一般財源 : 232,777千円
23年度予算額	593,077千円	国庫補助 : 130,280千円 基金繰入金 : 168,000千円 一般財源 : 294,797千円

(千円)
H24予算額
(H23予算額)

安心して質の高い医療の確保(医師の養成・確保)	確保	◆ 即戦力医師の確保 ◎ドクターバンク事業 医師の求人・求職登録、医師と医療機関とのコーディネート業務 (改) ○ 医師研究資金貸与事業 医師研究環境整備資金(県外から転任する医師への貸与) がん専門医養成研究資金(がん治療専門医の養成) ○ 産科医療機関確保事業 分娩を取扱う産科医療機関の確保	38,292 (36,198) 18,000 (15,000) 22,810 (22,810)
	↓	◆ 将来の医師確保 (改) ○ 医学生修学資金等貸与事業 全国の医学生等に修学資金を貸与(信州大学医学部枠を10名に拡充) ○ 研修病院合同説明会合同参加事業 医学生対象の病院説明会の開催及び県外説明会への参加 ◎ 高校生進学セミナー等の開催 高校生対象の医学部進学セミナーの開催	254,400 (225,600) 16,364 (15,790) ※38,292
	↓	◆ 医師・研修医・医学生のキャリア形成支援 (新) ◎ 修学資金貸与者のキャリア形成支援 研修会・講演会の開催、面談・相談の実施 (新) ◎ 信州型総合医の研修プログラムの作成 地域医療を志す医師向けの研修プログラムの作成 ◎ 地域医療に関するセミナーの開催等 ○ 後期研修医確保・養成支援事業 中核的病院が実施する後期研修医確保のための取組を支援 ○ 女性医師復職支援研修事業 臨床への復職に必要な研修を病院へ委託	※38,292 ※38,292 ※38,292 80,000 (80,000) 1,260 (1,260)
↓	◆ 医師の勤務環境の改善 ○ 病院勤務医が働きやすい環境整備促進事業 病院が行う働きやすい環境整備のための取組を支援 ○ 女性医師ネットワーク協議会 女性医師が働き続けるための支援策等を検討 ○ 地域医療をともに考えるシンポジウムの開催 住民が地域医療をともに支えていく機運の醸成 ○ 地域医療検討会の開催 二次医療圏ごとの医療体制等の検討	4,000 (2,000) 187 (227) 343 (582) 578 (866)	
↓	◆ 医師の処遇改善 ○ 勤務環境が過酷な診療科の医師に対する手当への支援 産科医・新生児医療担当医・救急勤務医への手当の支給 ○ 助産師支援研修事業 最新の産科医療や助産技術についての研修の実施	109,506 (142,315) 429 (429)	

※は再掲

【 信州医師確保総合支援センター 】

県・信州大学・県立病院機構が連携して設置。
ドクターバンク事業や医師のキャリア形成支援
等を実施。(◎:センター事業 38,292千円)



医師確保対策の推進

(新) 信州医師確保総合支援センターの業務)

1 医師不足状況等の把握分析と医師不足病院等への配置 (県)

- 【情報分析・方針決定】
- 必要医師数調査や病院へのヒアリング等の実施
 - 地域や診療科ごとの医師不足の状況を把握、分析
 - 医師を優先的に配置する方針等の決定
- 【ドクターバンク事業 (医師無料職業紹介)】

2 修学資金貸与者のキャリア形成支援と配置に向けた調整等 (分室)

- 【キャリア形成支援】
- 医学生・医師との面談等により相談・助言を実施
 - 地域医療を担う医師向けの研修プログラムを作成・提供
- 【医師の配置に向けた調整】
- 修学資金貸与者の意向確認及び医療機関との配置調整
- 【将来地域医療を担う人材の開拓・育成】
- 高校生・医学生対象のセミナー等の開催

3 情報発信や地域医療関係者との調整 (県・分室)

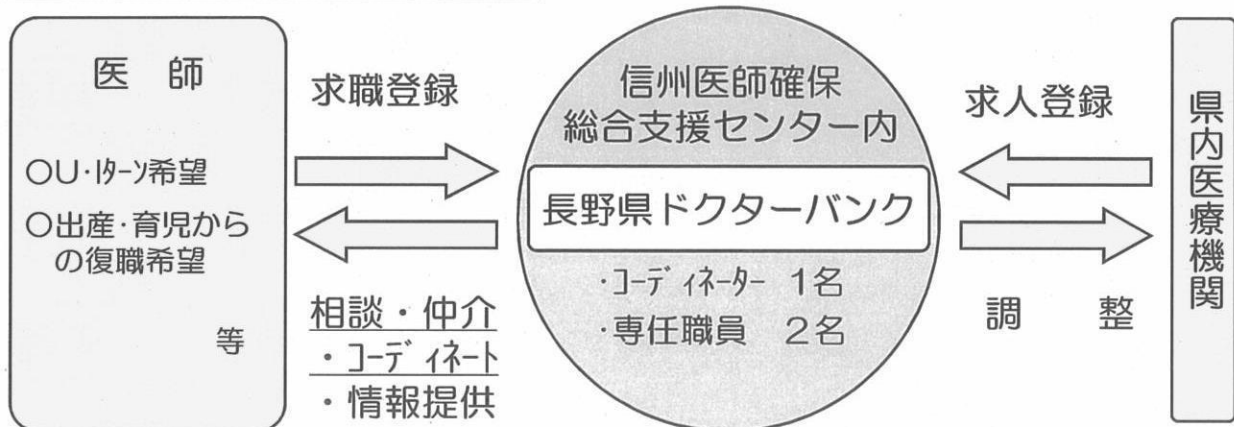
- 【相談への対応と情報発信】
- 医師・医学生等からの様々な相談への対応
 - 求人・求職情報、地域医療の現状についての情報発信
- 【地域医療関係者との協力関係の構築】
- 地域医療対策協議会等の開催



医師確保対策の推進

(信州医師確保総合支援センター事業)

ドクターバンク事業



病院訪問への同行・サポート、お子さんの保育園やお住まいの案内調整を含め、できる限りきめ細かい対応を心がけています。

【登録状況】 (平成24年3月末現在)



〈求職登録累計〉 122名 〈求人登録〉 80医療機関
(うち 就業成約 68名) 417人